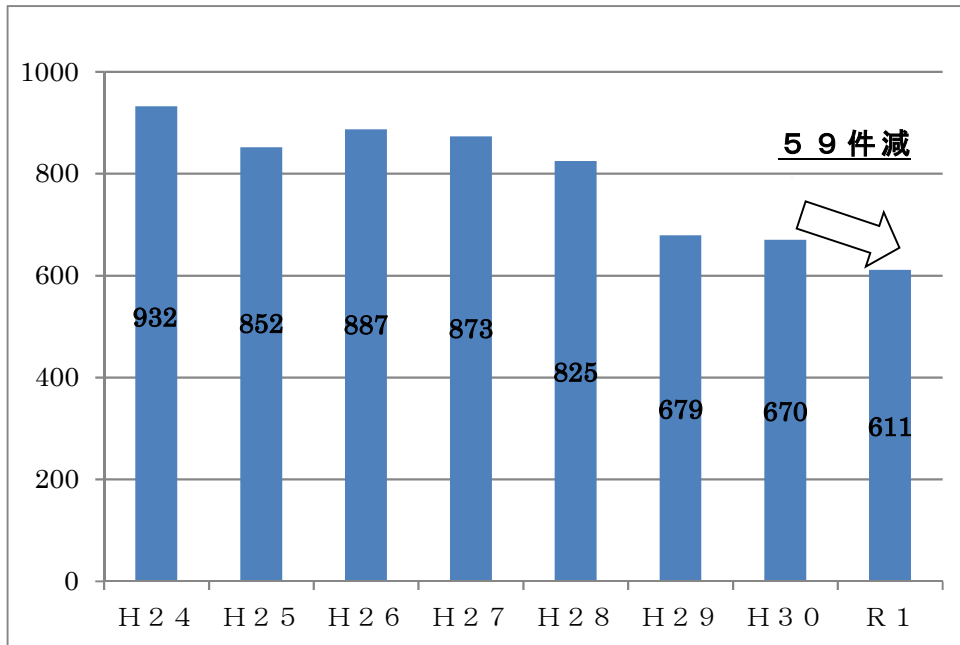


鉄道係員に対する暴力行為の発生状況（令和元年度）

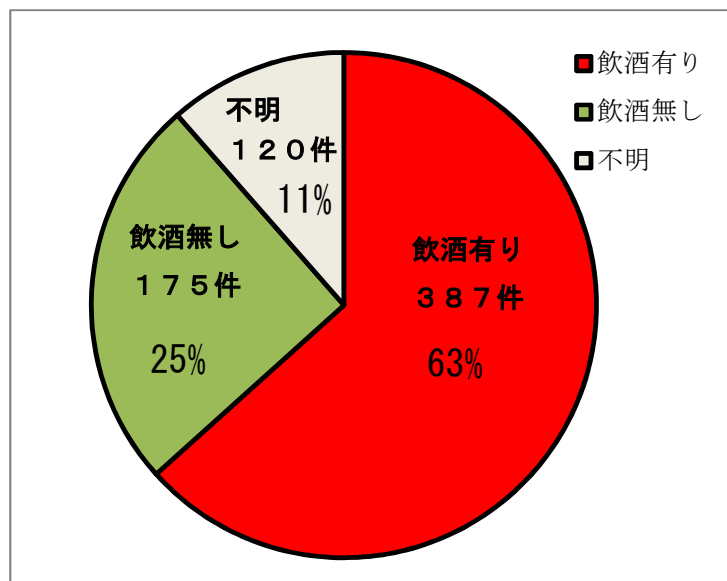
○令和元年度 全国鉄道軌道事業者 計 611件



○加害者の飲酒の有無

半数以上の加害者が飲酒有り

※飲酒が判別できないものは不明（11%）に含む

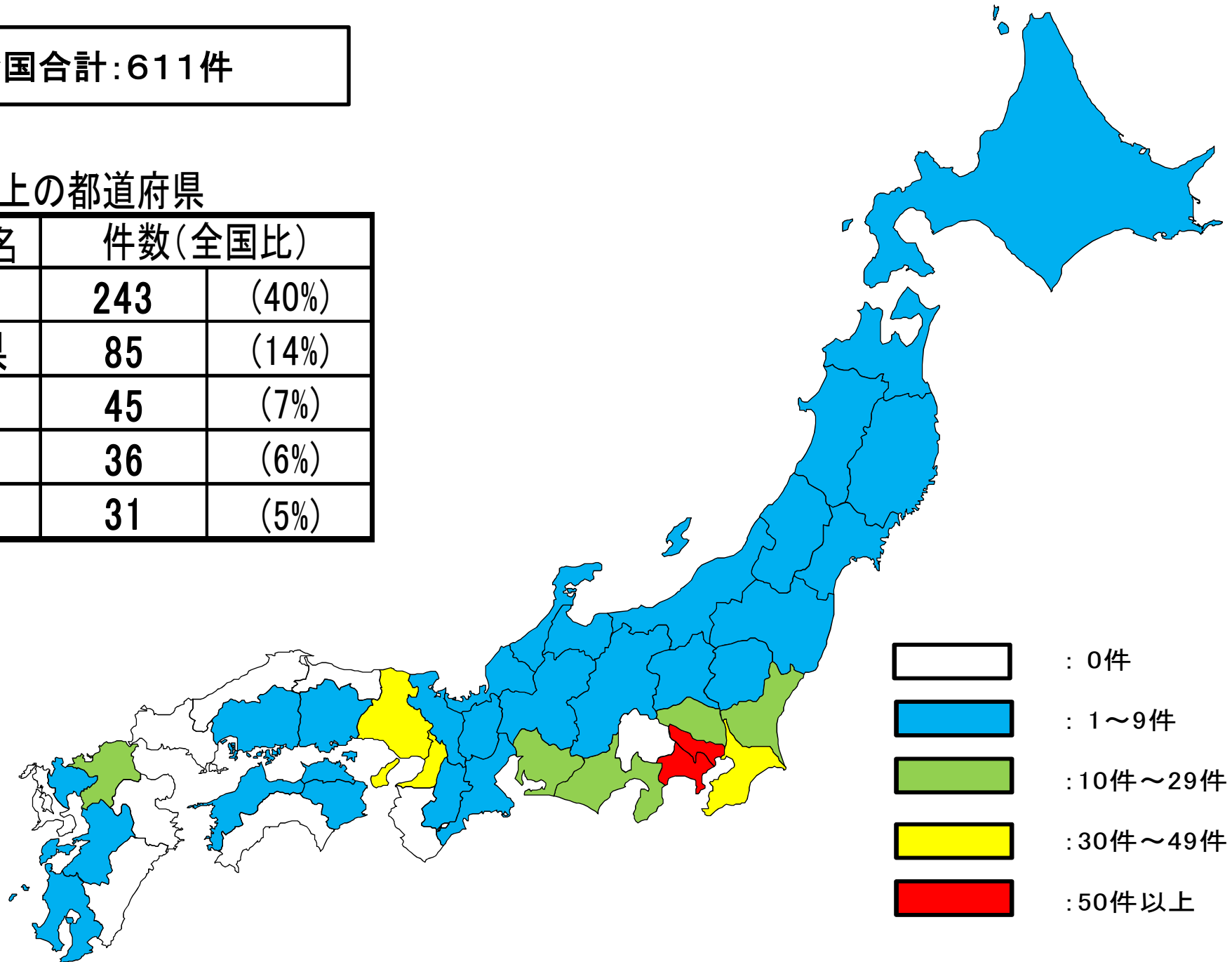


鉄道係員に対する暴力行為の発生状況(都道府県別・令和元年度)

全国合計:611件

○ 30件以上の都道府県

都道府県名	件数(全国比)	
東京都	243	(40%)
神奈川県	85	(14%)
大阪府	45	(7%)
兵庫県	36	(6%)
千葉県	31	(5%)



鉄道係員に対する暴力行為の発生状況
(都道府県別:令和元年度)

都道府県名	件数	
東京都	243	(179)
神奈川県	85	(48)
大阪府	45	(14)
兵庫県	36	(7)
千葉県	31	(20)
愛知県	28	(18)
埼玉県	25	(19)
静岡県	16	(10)
福岡県	15	(10)
茨城県	11	(8)
北海道	9	(2)
京都府	8	(3)
秋田県	6	(0)
奈良県	5	(0)
石川県	4	(0)
長野県	4	(2)
岐阜県	4	(1)
宮城県	3	(2)
岩手県	2	(1)
山形県	2	(0)
栃木県	2	(2)
群馬県	2	(0)
新潟県	2	(2)
福井県	2	(0)

都道府県名	件数	
三重県	2	(1)
佐賀県	2	(2)
鹿児島県	2	(0)
青森県	1	(0)
福島県	1	(0)
富山県	1	(1)
滋賀県	1	(0)
岡山県	1	(0)
広島県	1	(0)
徳島県	1	(0)
香川県	1	(0)
愛媛県	1	(0)
熊本県	1	(1)
山梨県	0	(0)
和歌山県	0	(0)
鳥取県	0	(0)
島根県	0	(0)
山口県	0	(0)
高知県	0	(0)
長崎県	0	(0)
大分県	0	(0)
宮崎県	0	(0)
沖縄県	0	(0)
全国合計	611	(356)

※ 暴力行為の発生件数は、唾かけ行為なども含めて幅広く集計しており、このうち、()内は警察へ届け出た件数である。

※ 全国合計の件数には、列車内で発生し都道府県別の計上ができない5件(うち、被害届出件数3件)を含むため、合計が合わない。